

- 問1 札幌市の中心部で、道路が垂直・水平に交わり区画が整理された「格子状の街路」が採用された背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2020年 島根県公立入試 類似)
1. 自然発生的に形成された集落が、人口増加に伴って地形に合わせて四方に拡大していったため。
 2. 広場を中心に道路が四方八方へ伸びる、中世ヨーロッパの都市計画をそのまま導入したため。
 3. 江戸時代の城下町の構造を引き継ぎ、敵の侵入を防ぐために見通しの良い道路を配置したため。
 4. 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。
- 問2 札幌市と福岡市の降水量を比較した資料において、6月から7月にかけての札幌市の降水量は、福岡市などの都市と比べて著しく少ないことが示されています。このような気候の特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 梅雨をもたらす停滞前線が北海道付近まで北上する頃には、勢力が弱まるなどして消滅することが多いため。
 2. 寒流である親潮の影響によって海水温が低く、大気中の水蒸気量が年間を通じて極めて少ないため。
 3. 太平洋側から吹く温かく湿った空気が、日高山脈などの高い山々にさえぎられて乾燥した風になるため。
 4. 夏の季節風がシベリア高気圧の影響で乾燥し、雨雲が発達しにくくなるため。
- 問3 北海道の知床半島を含む東部地域では、夏季に「濃霧」が発生し、視界が悪くなったり気温が上がりにくくなったりすることがあります。この霧が発生する仕組みについて、海面を流れる潮の流れ（海流）と季節風の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2026年 島根県公立入試 類似)
1. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。
 2. オホーツク海から吹き込む冷たい風が、陸地の熱によって上昇気流となり、雲を作ることによって発生する。
 3. 日本海から吹き込む湿った季節風が、暖流である対馬海流によって冷やされることで発生する。
 4. 太平洋から吹き込む乾いた季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められることで発生する。
- 問4 北海道の農業産出額の構成を示したデータでは、乳用牛や肉用牛といった「畜産」が51.7%を占め、全国平均の31.4%を大きく上回っています。北海道において、このように畜産が盛んになった背景や理由として最も適切な説明はどれですか。
(2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 山がちで複雑な地形を活かし、小規模な土地で果樹栽培と畜産を組み合わせた多角経営を推進したため。
 2. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、大規模な牧草地を確保して酪農などを行うのに適していたため。
 3. 夏の高温多湿な気候を活かし、広大な土地で年に二度、米を収穫する二期作が行われたため。
 4. 大消費地である東京周辺への輸送距離が非常に短く、新鮮な食肉や牛乳を即座に届けられる有利な立地であったため。
- 問5 明治政府が北海道の組織的な開発を進めるために「開拓使」という機関を設置した際、農業に従事して土地を切り拓きながら、同時に北方の警備という軍事的な役割も兼ねて配置された人々を何と呼びますか。
(2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 地頭
 2. 屯田兵
 3. 防人
 4. 御家人
- 問6 北海道の農業産出額において、畜産が全体の中央値や平均を大きく上回り、5割を超える高い割合を占めている理由として最も適切な説明はどれですか。
(2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候と広大な土地を活かし、酪農や肉用牛の飼育が大規模に行われているため
 2. 水田単作地帯から、野菜や果樹を中心とした多角経営への転換が最も進んだため
 3. 温暖な気候を利用して、牛の放牧と米の二毛作を組み合わせた生産が行われているため
 4. 都市近郊の立地を活かし、新鮮な豚肉や鶏肉を供給する施設園芸が発達したため
- 問7 日本の諸地域の特徴をまとめた統計において、人口が約532万人であり、豊かな自然環境を背景に宿泊施設の延べ宿泊者数が約356万人、温泉地数が244箇所と全国的にも上位に位置する一方で、国宝の指定件数が1件にとどまっている地域はどこですか。
(2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 中部地方
 2. 九州地方
 3. 関東地方
 4. 北海道地方
- 問8 北海道の石狩平野における大正時代から現代にかけての地形の変化について、統計や地図上の情報を文章で説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。
(2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。
 2. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。
 3. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。
 4. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。
- 問9 日本の農業の状況を分析した資料において、農業就業者一人あたりの耕地面積が他の地方に比べて極めて大きく、かつ地方別の米の生産量割合において国内最大のシェアを占めている地方はどこですか。
(2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 九州地方
 2. 北海道
 3. 近畿地方
 4. 東北地方
- 問10 ある都道府県の統計データによると、「年間訪問者数が約2,133万人」「世界遺産登録数が1件」「空港の数が14か所」「新幹線の駅の数2か所」となっています。この統計が示す都道府県名と、その交通網の特徴を説明した文の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 北海道：広大な面積を有するため道内の航空網が発達しており、青函トンネルを通じて新幹線も乗り入れている
 2. 神奈川県：訪問客数は非常に多いが、羽田空港に近い県内に空港はなく、新幹線の駅は5か所設置されている
 3. 沖縄県：多くの離島を抱えるため空港の数は多いが、現在のところ新幹線は開通していない
 4. 奈良県：世界遺産の登録数は多いものの、内陸に位置し面積も狭いため、県内に空港は設置されていない
- 問11 北海道の農業の特色について、農家一戸あたりの耕地面積と、生産体制の関連性を説明した文として正しいものはどれですか。
(2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 耕地面積は広いが寒冷地で機械が故障しやすいため、現在でも伝統的な馬や牛を使った耕作が続いている。
 2. 広大な耕地を維持するために、海外から多くの季節労働者を雇い入れる労働集約的な農業が主流である。
 3. 耕地面積が全国平均より狭いため、土地を最大限に活用する集約的な施設園芸が発達している。
 4. 耕地面積が全国平均に比べて非常に広いので、大型の機械を活用した大規模な農業が行われている。
- 問12 北海道と本州の交通網の整備とその地理的背景について説明した文として、最も適切なものを選択してください。
(2018年 長野県公立入試 類似)
1. 津軽海峡の海底に青函トンネルを建設することで、青森県と北海道の間の安定した鉄道輸送が可能になった。
 2. 津軽海峡を横断する高速道路専用の橋を建設し、青森県から秋田県への自動車移動を効率化させた。
 3. 関門トンネルを抜けた新幹線が、岩手県から直接北海道へ乗り入れることで移動時間を大幅に短縮した。
 4. 宗谷海峡に巨大な橋を架けることで、北海道とロシアを陸路で結び、農作物の輸出を拡大させた。